

白血病の検査 について

日本臨床検査専門医会
田部 陽子



■ 白血病とはどんな病気ですか？

白血病は「血液のがん」です。血液中では、全身に酸素を運ぶ赤血球と、細菌やウイルスなどから体を防御する白血球と、出血を止める血小板という3種類の血球が動いています。これらの血球は、骨の中の骨髓という場所で作られています。白血球の赤ちゃん細胞である「造血細胞」が、がん化して、成熟できない細胞が増殖してしまふ病気が、白血病です。「白血病」という名前は、いまから150年以上前に、がん化した白血球が増え続けて、血液が白っぽく見えただことからつけられました。それ以降、白血病には「不治の病」というイメージが長く定着してきましたが、現在では、急速な医学の進歩によ

「血液のがん」になりつつあります。

■ 何が白血病の原因なのか？

まだ、白血病の原因を十分に説明できるまでは、わかっていません。ただし、放射線や化学物質や抗ガン剤などによって、造血細胞の遺伝子に傷がつき、いくつかの傷が重なった時に偶然に白血病細胞ができてしまうということまでは、わかってきています。白血病がうつったり、遺伝したりすることは、ありません。

■ 白血病の症状はどんなものですか？

「この症状があれば白血病です」といえるものはありませんが、発熱を繰り返したり、鼻血などの出血症状が続いたり、顔色が悪くなる、息切れがする、動悸がするといった貧血の症状が出たりします。リンパ節が腫れることもあります。急速に病気と症状が進む急性白血病と、ゆっくりと進行する慢性白血病があります。白血病を見つけるためには、血液検査が必要です。

■ 白血病の診断には、どんな検査をするのですか？

まず、血液検査をします。血液中に異常な細胞が出てきたり、血球の数が異常だったりして、白血病が疑われたら、骨髓検査が必要です。白血病細胞は、骨髓の中で増えるので、骨髓検査は、白血病の診断に大切な検査です。骨髓検査では、局所麻酔をしてから、骨に針を刺して骨髓液を採取します。

■ 白血病の治療法には、どんなものがありますか？

白血病の治療の基本は、抗ガン剤で白血病細胞を殺すことです。その他、放射線を使う放射線療法、造血幹細胞（非常に若い造血細胞）を骨髓に移植する移植療法があり、これらを組み合わせる治療をします。白血病の種類によっては、非常によく効く薬があります。また、効果の高い薬の組み合わせの研究が進んでいます。

